



# 新しい世界・時代作りを みなさんとともに

扇 慎太郎 OGI Shintaro

国際戦略局宇宙通信政策課長

## これまでのキャリアをふりかえて

私たちの生活に欠かせないインターネットをはじめとする情報通信。みなさんも私生活、勉強、仕事の様々な場面でネットを利用していると思います。今では当たり前のサービスも、私が入省した2000年にはSNSもなければ、動画配信サービスもAIのサービスもありませんでした。

私は、学生時代に「世の中の役に立つ大きな仕事をしたい。」と公務員を志し、情報通信技術の可能性を信じて、郵政省(現総務省)に入省しました。それから25年間、この分野で日本の事業者等が新たなサービス・技術を開発・展開するとともに、利用者の方々が安心してサービスの恩恵を受けられるよう、仕事に取り組んできました。

これからも情報通信は世の中をリードし、変化させていきます。その新しい世界・時代を皆さんと一緒に作り上げていくことを楽しみにしています。



欧州委員会の会合に臨む筆者



休日は家族でテニス

### 2023～現在 宇宙通信政策課長

宇宙分野への民間参入が進む中、日本が国際競争に勝っていきけるよう企業や研究機関による技術開発支援に取り組んでいます。宇宙通信の分野は大きな成長が期待され、また、今後世界中で重要性が高まる分野だと思っています。日々、やりがいを感じながら業務に向き合っています。

### 2020～2023 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)企画官、 情報流通行政局参事官付企画官

NISCでは、関係省庁等とひざを突き合わせながら1年議論し、「Cybersecurity for All」というコンセプトの下、我が国全体の「サイバーセキュリティ戦略」を策定しました。また、総務省復帰後には、メタバースの利活用の在り方についての検討やG7の議論への反映に取り組みました。

### 2015～2020 データ通信課課長補佐、総合通信基盤局総務課統括補佐、 情報通信研究機構(NICT) 欧州連携センター長

データ通信課では、無料Wi-Fiの整備に取り組み、総務課では局内業務のとりまとめ業務や国会対応を担当しました。その後、NICTのパリ事務所に出向となり、日欧の研究機関の連携に取り組み、日本の研究開発の発展に貢献しました。

### 2010～2013 在ドイツ日本国大使館一等書記官、情報通信政策課課長補佐

ドイツ留学の経験が買われ、ベルリンにある日本大使館に情報通信政策担当として出向しました。帰国後、情報通信分野における日本の国際競争力強化のため、民間事業者の海外での活動を支援する官民ファンドの創設を担当しました。そのファンドが10年を経た今でも企業の海外進出を支えている状況を見ると、この仕事を担当して良かったと思います。

### 2007～2010 消費者行政課課長補佐、内閣官房消費者行政一元化準備室参事官補佐

当時問題となっていた迷惑メール(スパム)対策として、迷惑メール法の改正に携わり、その後、当時の福田政権の重要課題であった消費者庁の設置のため、内閣官房で消費者庁設置法の策定を担当しました。与野党が対立する中、激しい国会審議を経て法案が成立したときは、涙が出るほど感動したことを覚えています。

### 2004～2007 内閣官房副長官補室主査、ドイツ留学

内閣官房では、当時の小泉政権の一丁目一番地である郵政民営化に携わりました。その後、多くの同僚が米英に留学する中、自らの強みを作ろうと思い、非英語圏で国力の高いドイツに留学しました。ドイツでは、通信・放送政策、地方自治などを学び、日本とは違う文化・思想を実感できたことは、自分の視野を広げる良い機会となりました。

### 2002～2004 市町村課、合併推進課

入省3年目には、地方自治、特に市町村合併を担当することになりました。各市町村で合併について真剣に検討してもらえよう、47都道府県でシンポジウムを開催したり、市町村への財政支援に取り組みました。地域の未来を真摯に考える方々と共に働き、仕事の根本は「熱い思い」にあると実感できたことは、今の仕事の姿勢にもつながっています。

### 2000～2002 総合政策課

希望がかなって情報通信政策を企画・立案する部署に配属されました。周りの優秀な先輩・同僚に圧倒される日々でしたが、社会人・公務員としてのいるはと政策づくりの基本を学んだ貴重な2年間でした。